取扱説明書 122型系　完成品

［1］　**仕　様**

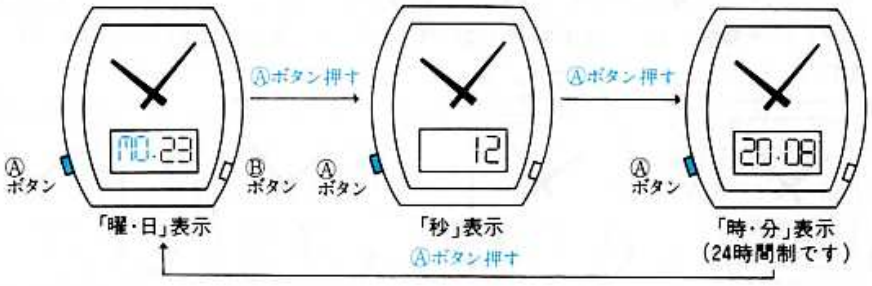
1 アナログ＋デジタル表示のリューズレス（電子針合わせ）
　アナログ＝時・分表示（1分運針）
　デジタル＝時・分（24時間表示）、秒、曜・日の3モード表示
2 アラーム機能
　24時間制で　アラームセットができます
3 30秒振り分けリセット機能
　±30秒以内の進み、遅れをワンタッチで 「秒」修正ができます
　※アナログ、デジタルは連動でしていますので同時に作動します
　「進み」の場合は待機して、「遅れ」は早送りして「0」秒スタート
4 オートカレンダー（自動カレンダー）
　2月が28日制ですので　うるう年の2月だけ修正してください
5 電池寿命切れ予告装置
　デジタル表示全体が点滅して「電池寿命切れ」を予告します
6 デュアルタイム（別時計）機能
　アナログ表示とデジタル表示をそれぞれ別の時刻セットし　別時計として
　使用できます

［2］　**外観と機能概略案内**

「時刻」「カレンダー」の見方

「時刻」「カレンダー」の見方

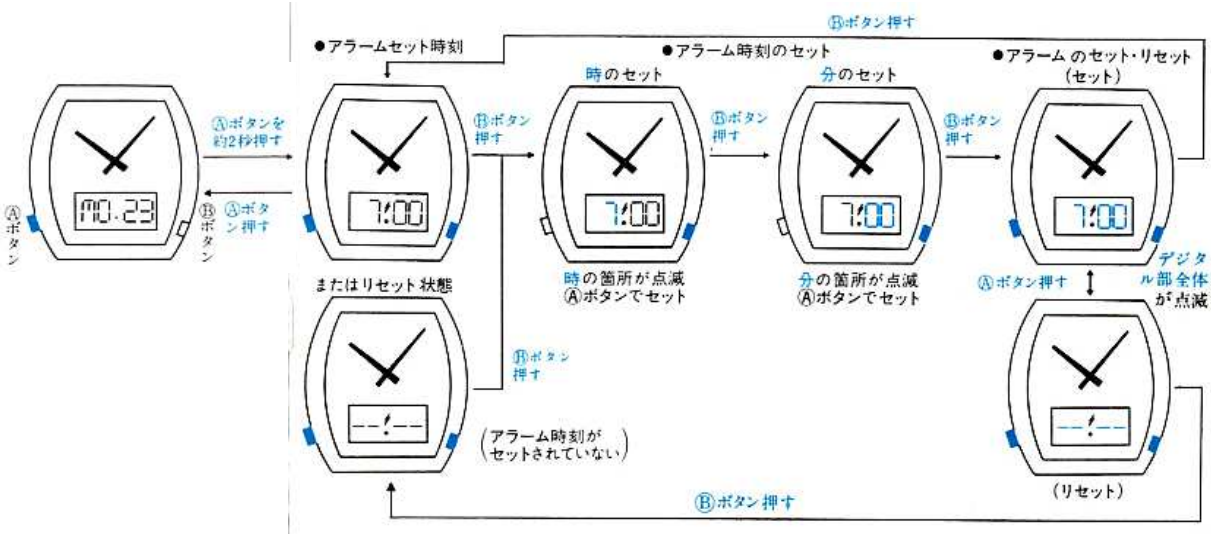
アナログにより時刻を表示し、デジタルにより「曜・日」「秒」「時・分」を表示します。
Ⓐボタンを押すごとに次の順でデジタルの表示内容が切換わります。



「曜・日」表示のとき曜日は英文字で表示します。
SU（日曜日）、MO（月曜日）、TU（火曜日）、WE（水曜日）、TH（木曜日）、FR（金曜日）、SA（土曜日）

「アラーム」としての使い方

アラームはデジタル表示でセットして下さい。
「時刻」「カレンダー」表示においてⒶボタンを約2秒押すと、デジタル表示部がアラーム時刻の表示となります。
●アラーム時刻表示された時、数字表示（例：7:00 ）の時はアラームがセットされています。また「--:--」表示された時はアラームがセットされていない時（リセット）です。
●アラーム時刻のセットは、アラームセット時刻またはリセット状態においてⒷボタンを押すと時の箇所が点滅します。Ⓐボタンを押すことにより、押した回数だけセット数が送られ時のセットができます。
●時がセットできましたら、次にⒷボタンを押すと分の箇所が点滅します。同様にⒶボタンで修正します。
●アラームのセット（リセット）状態でⒷボタンを押すとデジタル部の点滅が消え、アラームセット時刻（リセット状態）にもどります。
●アラームセット時刻またはリセット状態でⒶボタンを押すと、デジタル表示部はカレンダー表示になります。
●アラームが鳴り、途中で止めたい時はⒶボタンを押してください。



「時刻」「カレンダー」の合わせ方

Ⅰ. デジタル表示の場合

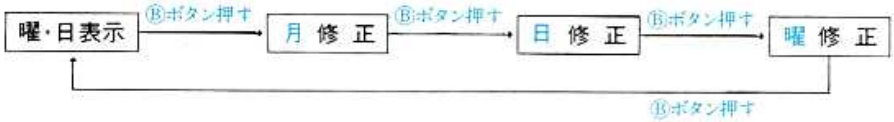
①修正したい箇所をⒶボタンで表示します。
②ⒷボタンⒷを押すと修正箇所が点滅します。
(Ⓑボタンはボールペン等先の細いもので押してください。)
③ⒶボタンⒶを押すことにより、押した回数だけ修正数が送られ、修正できます。

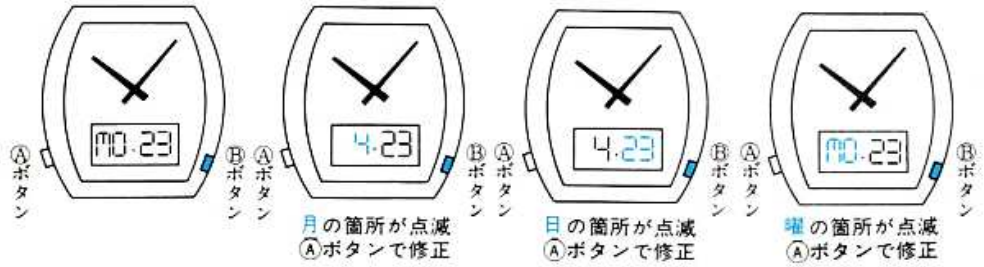
デジタル表示のコロン点滅について

		表　　示
コロン	点滅	○通常表示(時・分、曜・日)
	停止	○デジタル修正(時、分、月、日、曜) ○アナログ修正 ○ストップウォッチ表示(リセット スタート、ストップ)
コロンなし		○秒表示

カレンダーの修正

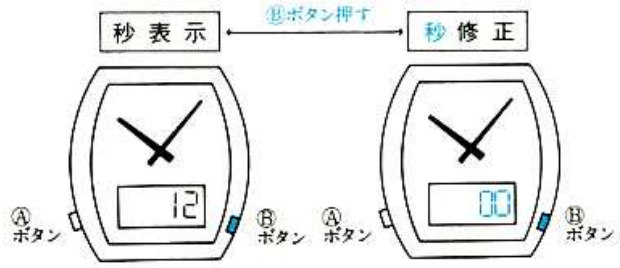
「曜・日」表示においてⒷボタンを押すごとに修正箇所は次の順で切換わります。





秒の修正

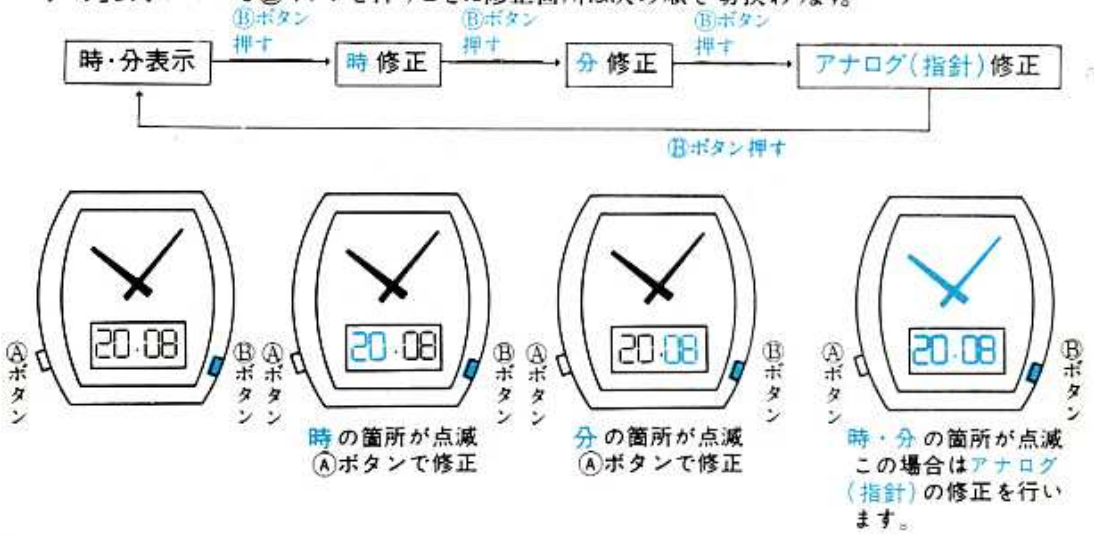
「秒」表示においてⒷボタンを押すと秒修正され「秒」表示に戻ります。



この場合、秒が0～29秒のときは0秒に、30～59秒のときは分が1分進んで0秒からスタートします。秒はデジタル、アナログ(指針)が連動していますので、指針(分針)は同じ動きをします。(30秒振り分けリセット)

時分の修正

「時・分」表示においてⒷボタンを押すごとに修正箇所は次の順で切換わります。



アナログ表示の修正

デジタルの「時・分」表示においてⒷボタンを3回押すと「時・分」が点滅します。この時、アナログ(指針)の修正ができます。

針合わせ……Ⓐボタンを約2秒押し続けると分針は連続して進みます。まず合わせようとする時刻の2～3分ほど前まで連続送りしてください。Ⓐボタンを1回押すごとに分針が10秒ずつ送られます。正しい時刻に合わせてください。

スタート……Ⓑボタンを押せば時計はスタートし、正しい時刻を刻みます。(この時デジタルの「時・分」は点滅が消え元の状態に戻ります。) **※Ⓑボタンを押さないと、時分針はストップのままなので、忘れずに押して下さい。**

この時、デジタルの時刻と同じ時刻に合わせれば、デジタルの時、分、秒と連動して時刻を刻みます。デジタルの時刻と異なる時刻をセットして、デュアルタイム(別時計)としても使用できます。

注:デュアルタイム(別時計)として使用する場合、アナログ表示と曜・日表示(デジタル)は連動にはなりませんので注意してください。